

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第16週の発生動向

全数報告の感染症 (16週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 7 例。3 類感染症：報告なし。
4 類感染症：レジオネラ症 1 例。5 類感染症：梅毒 2 例、破傷風 1 例、百日咳 4 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	10歳代	男	無症状病原体保有者	—
			20歳代	女	無症状病原体保有者	—
			50歳代	男	無症状病原体保有者	—
			60歳代	女	結核性リンパ節炎	頸部リンパ節腫脹、圧痛
			70歳代	男	肺結核	—
			70歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱、呼吸困難
			80歳代	男	肺結核	咳、呼吸困難
4類	レジオネラ症	延岡	80歳代	男	肺炎型	発熱、咳嗽、肺炎
5類	梅毒	延岡	30歳代	男	無症状病原体保有者	—
		小林	30歳代	男	早期頭症梅毒(I期)	硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹
	破傷風	宮崎市	30歳代	男	—	筋肉のこわばり、開口障害
	百日咳	宮崎市	10歳代	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み
		中央	5~9歳	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み
			10歳代	男	—	持続する咳
		中央	60歳代	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 278 人(定点当たり 8.6)で、前週比 99%と横ばいであった。なお、前週に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び水痘で、減少した主な疾患は感染性胃腸炎と伝染性紅斑であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

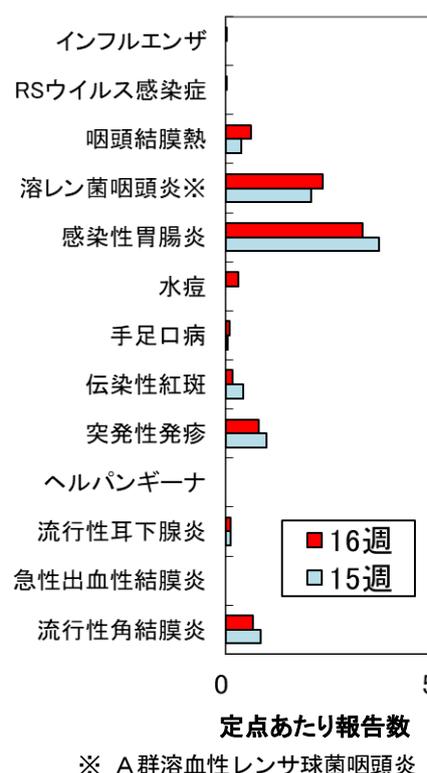
報告数は 82 人(2.3)で、前週比 114%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.9)の約 0.8 倍であった。日南(8.0)、宮崎市(3.2)、小林(3.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は 4~7 歳が全体の約半数を占めた。

【感染性胃腸炎】

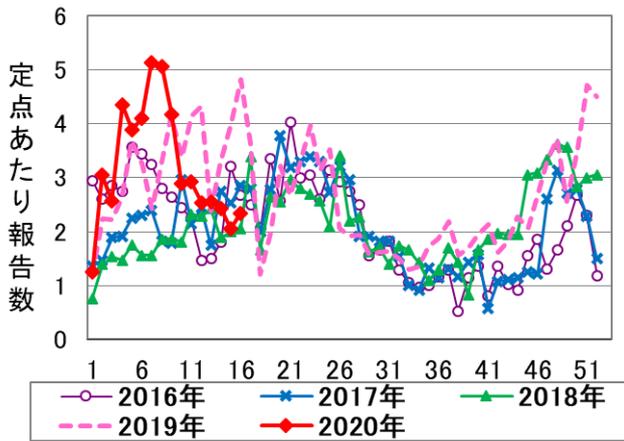
報告数は 115 人(3.3)で、前週比 89%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(10.4)の約 0.3 倍であった。小林(8.0)、日向(5.5)、都城(5.2)保健所からの報告が多く、年齢群別は 1~2 歳が全体の約 4 割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

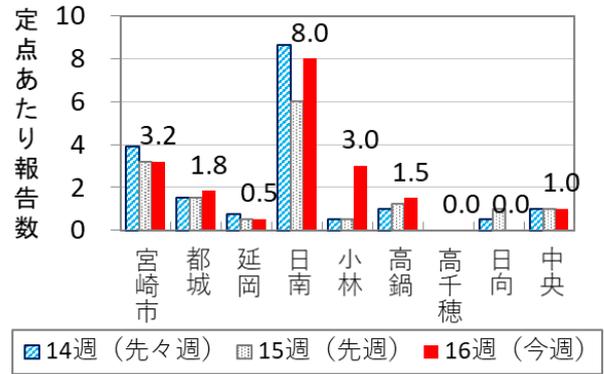
《前週との比較》



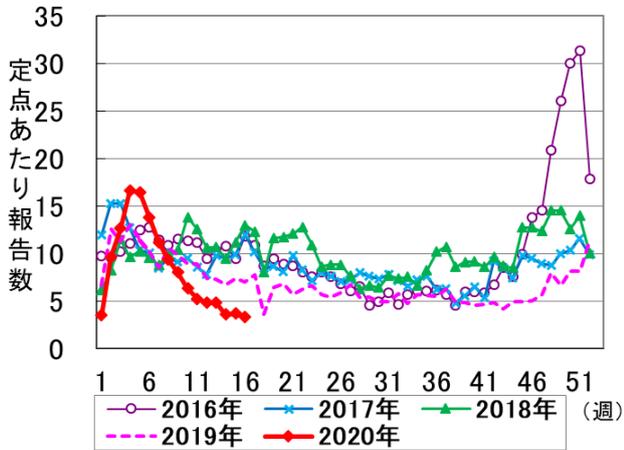
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



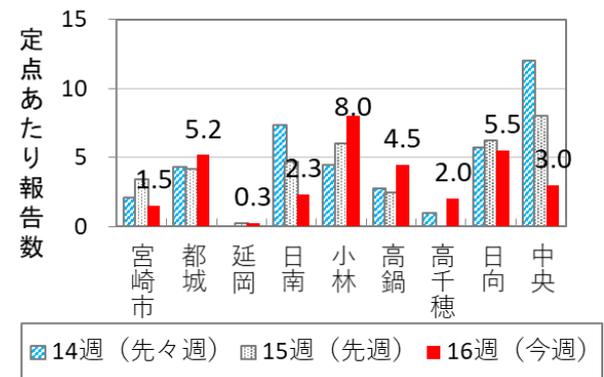
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 保健所別推移(3週分)



感染性胃腸炎 発生状況



感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：日向保健所から1例報告があった。
年齢は0～4歳であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	水痘(1.0)
日向	なし
中央	なし

* 流行警報レベル開始基準値 *
・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)

* 流行注意報レベル基準値 *
・水痘(1)

🇯🇵 全国 2020 年第 15 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 15 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	207 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	16 例				
4類感染症	E 型肝炎	7 例	A 型肝炎	1 例	つつが虫病	3 例
	デング熱	2 例	日本紅斑熱	3 例	レジオネラ症	16 例
5類感染症	アメーバ赤痢	7 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	8 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4 例
	後天性免疫不全症候群	10 例	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	11 例	水痘（入院例）	2 例	梅毒	47 例
	播種性クリプトコックス症	2 例	破傷風	1 例	百日咳	33 例
	風しん	2 例	麻しん	1 例		
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	3,044 例				

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 88 %と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はヘルパンギーナで、減少した主な疾患はインフルエンザと A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び感染性胃腸炎であった。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 3,970 人(1.3)で前週比 86%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.3)の約 0.6 倍であった。鳥取県(4.2)、石川県(3.2)、福岡県(3.0)からの報告が多く、年齢群別では 3～5 歳が全体の約 4 割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 5,063 人(1.6)で前週比 86%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(6.0)の約 0.3 倍であった。島根県(4.0)、鹿児島県(3.9)、宮崎県(3.7)からの報告が多く、年齢群別では 1～5 歳が全体の約半数を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2020年 第16週(04月13日～04月19日)

疾病名	第15週	第16週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	2		1				1			
	定点当り	0.00	0.03	0.00	0.10	0.00	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	1	1								
	定点当り	0.00	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	13	21	6	7	3	1		3	1	
	定点当り	0.37	0.60	0.60	1.17	0.75	0.33	0.00	0.75	0.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	72	82	32	11	2	24	6	6		1
	定点当り	2.06	2.34	3.20	1.83	0.50	8.00	3.00	1.50	0.00	1.00
感染性胃腸炎	報告数	129	115	15	31	1	7	16	18	2	22
	定点当り	3.69	3.29	1.50	5.17	0.25	2.33	8.00	4.50	2.00	5.50
水痘	報告数		11	2	4	3			1	1	
	定点当り	0.00	0.31	0.20	0.67	0.75	0.00	0.00	0.25	1.00	0.00
手足口病	報告数	2	3								1
	定点当り	0.06	0.09	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.25	0.00	1.00
伝染性紅斑	報告数	15	6	1	2			2		1	
	定点当り	0.43	0.17	0.10	0.33	0.00	0.00	1.00	0.00	0.25	0.00
突発性発しん	報告数	34	28	14	2		3	3	3	3	
	定点当り	0.97	0.80	1.40	0.33	0.00	1.00	1.50	0.75	0.75	0.00
ヘルパンギーナ	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	4	4		1				3		
	定点当り	0.11	0.11	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.75	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
流行性角結膜炎	報告数	5	4	3		1					
	定点当り	0.83	0.67	1.00	0.00	1.00					
細菌性髄膜炎	報告数	1									
	定点当り	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ 肺炎	報告数		1								1
	定点当り	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	
クラミジア肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

インフルエンザ定点:58、小児科定点:35(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2020年第1週～16週)

2類感染症	結核	43例(7)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	3例		
4類感染症	A型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	1例
	レジオネラ症	4例(1)		つつが虫病
5類感染症	アメーバ赤痢	4例	ウイルス性肝炎	1例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例	後天性免疫不全症候群	1例
	侵襲性肺炎球菌感染症	7例	水痘(入院例)	4例
	破傷風	2例(1)	百日咳	29例(4)
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	17例		

()内は今週届出分、再掲